

〔宮城寛諄議員 登壇〕

○14番 宮城寛諄君 午前中には終われるように質問しますので、答弁もよろしくお願ひします。3点質問いたします。まず1点目に、自衛官募集への対応を問うということで質問いたします。安倍首相は2月の自民党大会で「自治体の6割以上が協力を拒否している」と述べ、このことは自衛隊の募集のことです。全国の自治体に協力を迫るとともに、憲法9条への自衛隊明記の改憲を強く訴えました。一方で少子化の進行や戦争法（安保法制）に伴う集団的自衛権行使の危険性が高まる中で自衛隊志願者の減少が続いています。このような中で全国の自治体に募集対象者情報の提供を求めています。例えば新高卒、要するに高校卒業前、中学校卒業前のそういった情報です。本町においても情報提供の求めがあったと思うけれども、どう対処したか。

2点目に、町内公共施設の維持管理はどうなっているか。山川体育センターの水道の漏水、水銀灯の不灯火の放置、防球ネットの破損、それからスケートボード場施設の破損、ちむぐくる館の器具の破損等、多くの町民が利用する施設が使えなくなったり、危険な状態にある。維持管理は徹底して行うべきではないのか。町長の考えを問う。

3点目に…、ちょっと休憩をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前11時18分）

再開（午前11時18分）

○議長 知念富信君 再開します。

○14番 宮城寛諄君 3点目に、県営団地の建てかえはいつ終わるのか。第一団地が7棟、8棟、9棟、10棟。それから第二団地が1棟から6棟の壁の補修が行われました。団地の建てかえが延びるのではと心配の声が聞こえます。今後の計画はどうなっているか。以上、3点よろしくお願ひいたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の（1）についてお答えします。ご質問のとおり、本町にも住民基本台帳の一部の閲覧請求と自衛官募集対象者情報のデータ提供依頼がありました。住民基本台帳法に基づき閲覧については対応いたしました。対象者情報のデータ提供については住民基本台帳の閲覧で十分であると判断したため行っておりません。

質問事項3点目についてお答えします。県に問い合わせたところ、壁の補修については、剥離による事故を未然に防止し、安全上の観点から緊急的に維持管理の中で施工をしたもので、建替事業が延びるものではないとの回答がありました。また、今後の計画は県営南風原第一団地が今年度一部解体工事を実施し、次年度3期本体工事の発注を行い、令和4年度に完了見込みとのこと。第二団地は、第2期工事の高層棟部分を今年度9月に着手しており、中層棟部分を今年度内に発注し、令和4年度末完了予定。その後に第3期、第4期工事と進め、現時点における全体事業の完了予定は令和5年度末とのこととあります。以上で

す。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2点目、公共施設関係についてお答えいたします。公共施設の維持管理や危険箇所の除去、改善につきましては、予算確保も含め早急に対応しております。スポーツ・体育施設などの修理や改修等に多くの予算が必要な箇所につきましては、補助事業等の財源確保の検討とともに、実施計画へ計上し、早目に整備できるように対応してまいります。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 自衛隊募集業務については、住民基本台帳の閲覧で十分であると判断したということであります。これまでもそうだったというふうに思います。ただ、今回質問いたしましたのは、冒頭でも述べましたように、今、自衛官の応募者が少ないということで全国に相当言い方が適当かどうか、圧力をかけるといいますか、特に安倍総理は地元でもその対応が悪いということで自民党の党大会でも6割以上が協力していないということを発表したようですけれども、そういう中で南風原でもそういうことがあったのではないかというふうな危惧もありまして、その質問をいたしました。あちこちでそういったものが、閲覧だけではなくて、いろいろ名簿を提出するとか、その部分の宛名シールに打ち出して提供するとか、そういうところもあつたりということがあるものですから、是非その辺はこれまでどおりの対応、閲覧ということをやってほしいと思います。例えば自衛隊法の中では必要な報告、または資料の提出を求められることができるというふうにはなっていますけれども、何もこれは必ず提供しなければならないということでもありませんし、ただ南風原町のそういった住民基本台帳の閲覧に関する条例の中では、ちゃんと身分を明らかにして用途がはっきりするというのであれば閲覧させることができますとなっていますから、そのとおり今後も続けてほしいと思います。今後について、町長、これまでどおりということよろしいでしょうか。その辺をお伺いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 自衛隊への情報提供については、これまでどおり住民基本台帳法に基づいた閲覧の提供で、閲覧で対応してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 2点目に移ります。山川の体育センター、スケートボード場、それからちむぐる館の、今回は公共施設3つのことについて質問をいたしましたけれども、ほかの議案の本会議でだったのか、ちむぐる館のほうは社協の持ち物であるので、いろいろ修理の必要もあるんだけれども、その辺がいろいろ口出しはできないというのか、そういうことをおっしゃっていたような気がするんですけども、ただ町民としてちむぐる館の向こうのところにあるものは、やっぱり何といいますか、町民が自由に使っている場所ですし、普通の公共施設として捉えるわけですから、そこが故障したり、機器の不具合のときには是非直してほしいというのは、やっぱり町に対して思うんですね。もちろん社協にもそう

いうことを要求するでしょうけれども、その辺は町も責任を持って管理をするということも是非やってほしいと思いました。今度の答弁では、特にちむぐくる館のことについては書いてはありませんけれども、スポーツ・体育施設などの修理は云々あるんですけども、その社協のほうのものだって、私は町からもそういった要望もすべきじゃないのかと思います。いろいろ修理不可で新規購入について検討するとか、故障で見積もりをとって修理をするとか、いろいろ財政と相談してとか、そういった内容が機器について書いてありますけれども、例えば財政と相談して云々と言ったけれども、社協だけでその辺の財政の負担はするのか。町から町民の健康づくりを委託しているわけですから、その辺の財政のバックアップもしないといけないでしょうし、そういうものも是非考えてほしいと思います。まずそこから伺います。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 ちむぐくる館の健康増進室の器具についてお答えします。まず議員おっしゃいました、向こうの備品が社協のものだから口出しはできないとか、そういうことは一切答弁しておりませんので、私が申し上げたのは、向こうにある器具には一部社協のものもございまして。そこで今後この健康増進室の活用に向けて、健康器具の整備も含めて、社協としっかり今後協議していきますというふうに答弁いたしました。今もその考えのとおりでございますし、今後きちんと、この健康増進室の活用、それから向こうに置いてある健康器具の管理、整備等を含め、社協としっかり協議して、社協自身が社協独自で高齢者の健康増進事業に取り組んでいますので、町の健康づくりとしっかり組み合わせて、一緒になって向こうの活用を検討していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 私の聞き違いだったのか、社会のものだから余り口出しできないという感覚で捉えていました。その辺は私の間違いでありました。しっかり協議していくということで、社協のほうでもその辺は財政の関係もいろいろあるでしょうし、社協に対する補助金も、本年度も何か一部カットされているような感じもありましたので、その辺は大変だと思いますけれども、是非協議しながら町民が利用できるような形でやってほしいというふうに思います。

それから山川の体育センターについてですけども、答弁のほうでは多くの予算が必要な箇所については補助事業云々があるんですけども、多くの予算がかかるのは、それは年次的な計画を立てやっていかないといけないというふうに思います。しかし、補助事業等の財源確保の検討というふうに答弁していますけれども、補修、修理、そういうものに補助事業というものがあるのかどうかわかりませんが、ただ新規事業だったら補助事業を探して、新しい事業をスタートするかどうかというのはいろいろあるんでしょうけれども、これは新規事業ではなくて、これまである施設を修理、要するに維持管理するわけですから、それはそれなりの予算を組んでやってほしいというふうに思います。スケートボード場もそうですけれども、特にスケートボード場も皆さんごらんになったと思いますけれども、皆

さん方が修理したところも前回、私は質問、何月だったかやったんですけれども、写真をもらいました、修理した箇所。確かにその部分はよくなっています。ほかのところも、向こうの係の人が、穴があいているのでということで、鉄板を張ってガムテープで動かないようにしているという箇所が四、五カ所あるんです。それから路面というか、上に上がるときの板との地面との境目がめくり上がって、そこにスケートボードの車輪が引っかかるとか、途中で上っているときに、要するにあれば板の一方がめくり上がって、そこに車輪がつかまってしまって倒れるというところが何カ所かあるんです。是非そういうものの修理をやってほしい。とっても危険な状況です。例えば山川の体育センターの水銀灯にしましても暗い、ナイターをするにはそれだけの水銀灯が必要だということにつけたはずなんです。ところが4個ある球の中で1個ずつ切れていたりして、こういう暗い中でナイターもしたりしているわけですから、そこでけがをしたりすると、それはその後では取り返しがつかないと思います。そういう意味では、そういった維持管理については徹底して行う。そう思うんですけれども、皆さん方やはりそれもあれでしょうか。補助事業の財源確保の対象とお考えなのか。それとも早目の修理を行うと、行わなくてはいけないというふうに考えているのか。その辺をお伺いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 寛諄議員から提案のあります、スポーツ・体育施設のほう、さまざまな施設をこちらのほうで運用させていただいているわけですけれども、トレーニングジムも含めていろいろな頻度の高い部分の修理等も含めて、我々は予算のついたところについては、早急に予算の範囲内でできる部分についてはどんどんさせていただいております。先日も補正予算等でバイクの修理だとか、その辺を計上させていただいたりしているわけですけれども、できるだけいろんな形で予算を確保しながら、修理等についても手早くやっていくということでやってはいるんですけれども、かなり施設の中で壊れの早い部分、それから修理について時間のかかる部分について、いろいろ苦慮しているところでございます。ご質問の山川体育センター等については我々のほうも水道、それからネット、電気、別々に修理ができないとか、いろいろ事業所のほうとも検討をさせていただいております。別々にしてもかなりの金額がかかる工事であったりとか、それからスケートボードについても修理できる箇所についてはどんどん修理をしていくという形でやってはいるんですけれども、抜本的な修理とかになると、スケートボードのところだけでも500万円余の事業費がかかりそうだということもありまして、我々としては抜本的に修理が必要な部分については、補助事業の確保、それからPFIとか民間の力もかりながらする方法はないとか、いろんなところで検討はさせていただいております。こちらのほうで万全と、放置しているわけではなくて、さまざまな方法で検討しながら至って、まだ財源が確保できないという状況でありますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 財源確保は大変厳しいというのは私も重々承知しているつもりで

す。しかしながら、こういった毎日利用している施設については、もう使うなと言うわけにはいかないでしょう。特に山川の体育センターのほうも連日のようにここは利用されています。それからスケートボード場にしても、人数では出してもらえなかったんですけども、収入の金額で平成29年度と30年度の区別があるんですけども、58%の増なんです。この表から見ると。要するに、特にスケートボードは来年のオリンピックでも種目に入るぐらい今人気が高まっている、そういったスポーツなんです。要するにここからオリンピック選手も出るんじゃないかと。そこまでの、子供たちに人気があるし、青年たちにも人気があるし、そこは非常に利用されているところです。山川の体育センターでもそうです。そこからプロ野球選手も輩出しています。少年野球とか。そういった場所です。南風原の子供たちをそのスポーツ・体育施設で育てていくという。またスケートボードだって新たなオリンピックの競技として出てきたと。そういう子供たちを育成するという意味からは、早目に早目に是非やってほしい。確かに財政の問題があるというのはわかります。その辺は何とか皆さん方がいろいろ知恵を絞りながらやっているという部長の答弁もわかりますけれども、是非その辺は、町長、財政をひねり出しましょう。知恵の使い方だと思います。町長、じゃなければこれは総務かな、企画かな、是非その辺の予算を早目につくり上げるということで、けがのないように、その辺は補修をやってほしい。本格的な工事が、それだけ多くの金がかかるのであれば、補修で何とかならないかということも、もちろんそれは考えなければいけないし、本格的な工事をする必要があるのであれば、それは早目にやるべきだと私は思います。その辺はどうですか。財政は向こうですから、どちらでも結構です。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 おっしゃるとおりの、子供たちを育成する場ですので、我々のほうとしてもいろいろ検討させていただいています。具体的なことを言うと、t o t oの宝くじの中でスポーツ施設等の修理とか、それからやりかえの部分ありますので、そういったことを使ってできないかと。その辺の事業の作成をやってみたいとかですね。また別の財源としては、国以外の民間の事業所の力をかりての修理ができないかということもいろいろやっています。今後ともその辺については我々のほうとしても全力で早目に修理ができるよう、その財源確保を含め検討していきたいと思います。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 寛諄議員のご質問にお答えいたします。私も確かに町民の皆さんが、こういった要望があると。あるいはまた実際、町民の皆さんに危険が及ぶような設備とか、そういったようなものは早急に対応すべきだと考えております。町民が主人公の町政ということ念頭に町政を担当しているわけですので、議員ご指摘のとおり、それは常に念頭に置いておりますし、ただし、議員もご承知とおっしゃっているように、やはり財政との相談というのも大事でございます、私も入りをはかりて出るを制すると、要するに収入もふやしながら、また歳出もコントロールしていくということでございますので、そのつもりでおりますので、やはりこの事業の推進につきましては重要性と、あるいはまた優先順

位といたしますか、そのあたりをしっかりと吟味して対応してまいりたいと考えております。基本的に議員がご指摘のとおり、その部分に関しましては早急にやりたいということは、私も議員も一緒だと理解をいたしております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 町長が私と同じような考えの立場にあるのであれば、もう10月にも修理するんじゃないかと思うんですけれども、町長のおっしゃっているように出るを制するというはあるんですけれども、それはそうだと思います。しかし、必要なところには、出すべき金は出すと。何も制するだけではなくて、やってほしいと。いろいろ民間の事業所のそういう力をかりたりいろいろやるということで、是非このことは早目に検討してやってほしい。特にこのスケートボード場の子供たちがいろいろやっているわけですから、利用しているわけですから、数もどんどん多くなってきている。やっぱり私はオリンピックの目標があると思うんですけれども、それがあったということもあると思います。そういうことを早目にやってほしい。と思います。例えば山川についてでも、何も一遍にやるということではなくても、一つ一つでも是非片づけてほしい。ネットの破れたところ、水銀灯、水道の漏水、その辺を3つも一遍にこういう状況でネットの破れたものももう長い間です。水銀灯もだましまし使っているようなところもありますし、それをやってほしい。今回質問していないんですけれども、ほかにも公共施設のそういった不備のぐあいというのはたくさんあるはずなんです。例えば小さな公園は各字で整備すべきところもありますけれども、そういったところも是非監視をしながら、町民が使うそういう施設については早目早目に対応してほしいと思います。新しいものをつくるわけではないんです。今あるのを維持管理するんです。それになぜ手が回らないのかというのが町民の上がっている声で、その辺は早目をお願いしたいというふうに要望して終わります。

3点目について。第一団地が令和4年、第二団地が全体としては5年待つというふうになっていきますけれども、これは当初の計画どおりなんでしょうか。ちょっとその辺の記憶があれなので、当初の予定どおりなんでしょうか。その点をまずお伺いします。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 当初の計画どおりでございます。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 わかりました。是非皆さん方からも県のほうに、計画どおりできるようにしてください。実はこの質問をしたのは、一つには第一団地、第二団地、壁に足場を組んで本格的に工事をしていたのを見たものですから、これだけで終わらせるのかなど。それ以前はちょっと剥離した部分を落として、それで済ますみたいなどころがあったんです。ところが今回は第一も第二もちゃんと足場を組んでやっているものですから、これで済ませるのかなど。そのときに8月3日付と17日付の新聞で、県内の社会資本整備おくれという記事が出ました。3日の中では、1982年以前に建築された公営住宅の老朽化に伴う建てかえも済んでおらずと。防災上の観点からも入居者の安全性に影響が生じているとい

うことが載っていました。それから17日にも県内のインフラ整備など、40事業以上で膨大な、大幅なおくれが生じていると。中には当初計画から8年おくれる見込みの事業もあるとか、そういうふうなことがいろいろ載っていたものですから、例えば本島中南部の県営住宅9団地に設置されているエレベーターの修理もおくれているとか、そういうふうなことが載っていたものですから、じゃあ、南風原の団地もそうなのかなと。おくれるので、とりあえずここだけは補修しておこうということなのかなと。住民からもそういう心配が聞かれたんです。説明会あったのかと言ったら、いや、ないということがあったものですから。壁を直したんだけど、ひさしの部分とかイリガチの部分などはいまだに鉄筋が露出しているところがたくさんあるものですから危険な状態なんです。そういうこともあって質問いたしました。実際にはどうなのかと。こういう予算が足りない中で南風原団地もおくれるということになれば、町民のまた生命に危険が及ぶということでその辺は是非とも早目にやってほしいということから質問いたしました。計画どおり行うということであれば、それはしっかりとやってほしいと。それとできるまでは、令和4年、令和5年ですから、そこに住んでいる皆さん方が今、鉄筋むき出しの状況で剥離している部分があるわけですから、その辺は是非担当部署としても、県の仕事ではあるんですけども、だけれども町民の危険があるというところは気をつけてほしいと。それでその対応をしてほしいと思います。その点について一言何かあれば、部長なり、町長なりお答えをお願いできませんか。

〔休憩願います〕の声あり〕

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前11時47分）

再開（午前11時47分）

○議長 知念富信君 再開します。経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 ご質問にお答えします。現在、段階的に第一団地の建てかえとかをやっていくんですけども、建てるまでの際の既存の建物等の軒下の剥離とか、そういったものにつきましては県のほうに十分対応等を、こちらのほうからまた要請等を行ってまいりたいと思っております。